

自己評価指標（低炭素ベンチマーク）解説書 【簡易版】



1 自己評価指標（低炭素ベンチマーク）の導入

都は、温室効果ガスを2030年までに2000年比で30%削減するという意欲的な目標を策定しました。世界有数の大都市として、その都市活動に大量の温室効果ガスを排出していることから、これまでも先駆的な温室効果ガス削減対策を展開し着実に成果を上げてきましたが、目標達成に向け今後更なる推進を目指してまいります。

これまで地球温暖化対策報告書に取り組んでいただいていた事業者のみなさまは、既に、自らの事業所のCO₂排出量を把握し、日々、地球温暖化対策を実践されているところでございます。

都は、その取組をより進めるため、平成24年（2012年）度に、提出をいただいた地球温暖化対策報告書の情報を活用し、報告書を提出した事業者のみなさまが、自らの事業所の排出水準を把握するための指標として、各業種のCO₂排出状況を示した「自己評価指標（ベンチマーク）」と、ベンチマークを活用する手引きとなる「自己評価指標（ベンチマーク）解説書」を作成しました。本冊子は、解説書の簡易版になります。

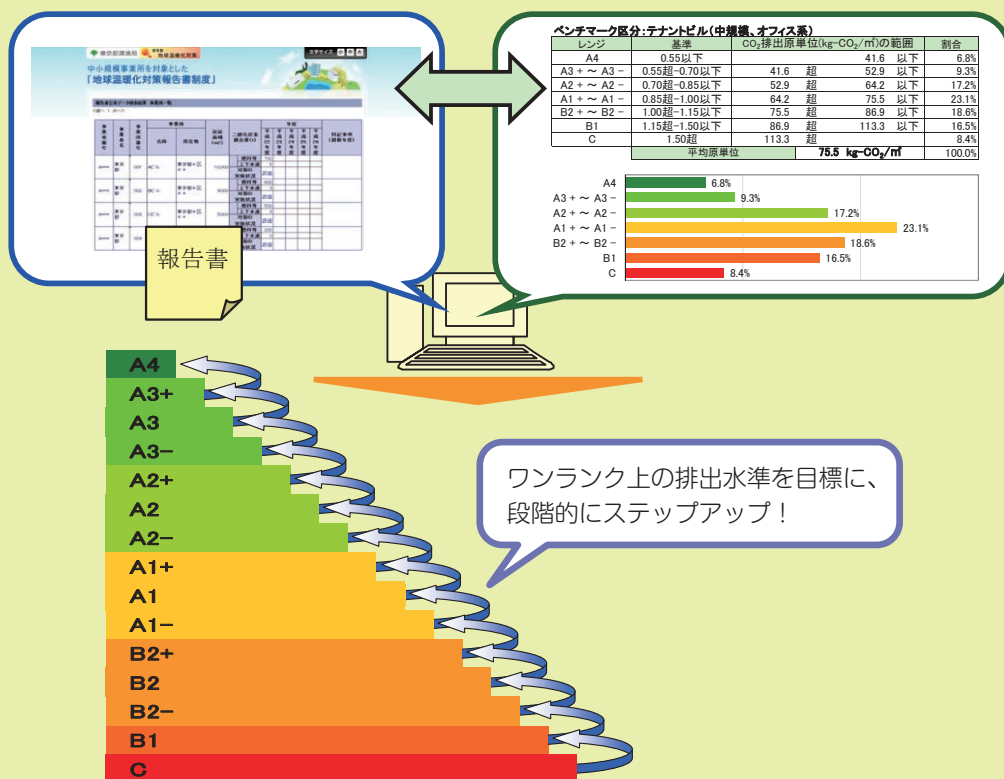
東日本大震災以降に発電方法の構成比が大きく変化したことに伴い、地球温暖化対策報告書制度では、事業所のCO₂排出量をより実態に合うものとするため、平成27年（2015年）度の実績から新しいCO₂排出係数を使用し算出することとしました。これにあわせて、ベンチマークも改定版を作成し、平成27年（2015年）度の実績に対応できるようにしました。

地球温暖化対策報告書を提出されたみなさまに、広くご活用いただけることを期待しています。

2 ベンチマークの活用とCO₂排出量に対する評価

ベンチマークを活用することで、みなさまの事業所のCO₂排出量が同業種の平均的な水準より多いのか少ないのかを把握し、ワンランク上の水準を目指して温暖化対策の取組を着実にステップアップすることができます。

自分の事業所のCO₂排出原単位とベンチマークを比較



<参考>ベンチマークの求め方

$$\text{CO}_2\text{排出量原単位(kg-CO}_2\text{/㎡)} \quad || \quad \text{ベンチマーク} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量(t)} \times 1,000}{\text{延べ床面積(㎡)}}$$

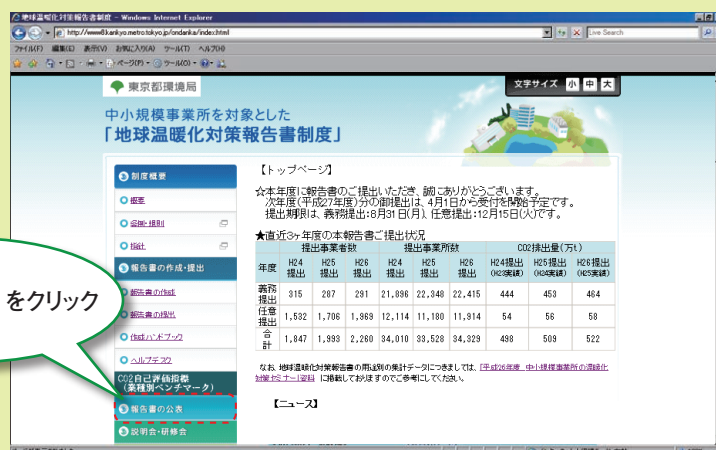
注：原単位とは、一般的には製品の一定量を生産するのに必要な生産要素の量
ここでは延べ床面積1㎡あたりの年間CO₂排出量を原単位としています。

3 ベンチマークの確認方法

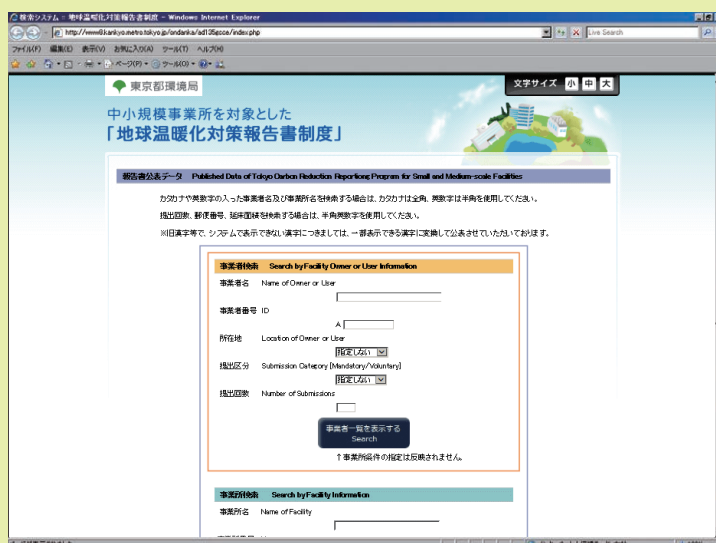
手順1：インターネットの検索サイトで「地球温暖化対策報告書制度」を検索します。

手順2：「報告書の公表」をクリックします。

「報告書の公表」をクリック



手順3：「事業者検索」、「事務所検索」画面が表示されます。



手順4：画面を下にスクロールし、「事業所名」欄に探しているビルの名称などを入力し、検索ボタンをクリックします。

探しているビルの名称を入力

事業者検索 Search by Facility Information

事業所名 Name of Facility

事業所番号 No

所在地 Address of Facility

郵便番号 (例: 999-9999)

区市町村名

町名番地以下

提出区分 Submission Category [Mandatory/Voluntary]

延床面積 Total Floor Area

用途・業種 Type of Business

主たる用途

産業分類(中分類)

産業分類(細分類)

検索ボタン

↑ 事業者・事業所条件による複合検索が可能です。

手順5：つぎの画面が表示されるので、原単位を確認します。

「21年度実績から26年度実績まで」を選択すると、旧排出係数での原単位が
「27年度実績から31年度実績まで」を選択すると、新排出係数での原単位が
表示されます。

「21年度実績から26年度実績まで」を選択

事業者番号 ID		事業者名 Owner or User	事業所番号 No.	事業所等の概要(最新年度)			年度別 公表項目	年度別実績 Performance of Each Year (以下で年度の範囲を切り替えることができます)						10件中 60 件表示				
				名称 Facility	所在地 Address	延床 面積 (㎡) Floor		特記事項 (最新年度) Remarks	21年度実績から26年度実績まで (2009～2014)			27年度実績から31年度実績まで (2015～2019)						
									21年度 実績 (2009)	22年度 実績 (2010)	23年度 実績 (2011)	24年度 実績 (2012)	25年度 実績 (2013)	26年度 実績 (2014)				
									t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡
A0000	〇〇〇〇 株式会社	0001	〇〇〇 ビル ディング	東京都 新宿区 〇〇 1-1-1	5000	CO2 排出 状況 燃料 等 上下 水道 有無 達成 状況 目標 対策 の実 施 状 況 取組 表示 書	330	—	315	—	300	—	295	59	270	54	260	52

原単位表示がない年度は、CO₂排出量と延床面積から原単位算出
330(t)/5,000(㎡)=66(kg-CO₂/㎡)

旧排出係数での原単位表示

「27年度実績から31年度実績まで」を選択

事業者番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所等の概要(最新年度)					年度別 公表項目	年度別実績 Performance of Each Year (以下で年度の範囲を切り替えることができます)												
		事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (㎡) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks		21年度実績から26年度実績まで (2009～2014)					27年度実績から31年度実績まで (2015～2019)							
								27年度 実績 (2015)		28年度 実績 (2016)		29年度 実績 (2017)		30年度 実績 (2018)		31年度 実績 (2019)				
								t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡	t	kg/㎡			
A0000	〇〇〇〇株式会社	0001	〇〇〇〇ビルディング	東京都新宿区〇〇1-1-1	5000	〇〇〇〇ビルディングでは、空調設備を更新するための調査をLED照明化する等、エネルギー削減の取組を計画中です。	CO2排出状況	燃料等	300	60.0										
							上下水道	2	—		—		—		—					
							有無													
							達成状況													
							目標													
							対策の実施状況		詳細											
							取組表示者		PRソフトとカメラ											

新排出係数での原単位表示

手順6：ベンチマーク区分を確認して、該当するベンチマーク表でレンジを確認します。

例：テナントビル（オフィス系 中規模）延床面積：3,000㎡～10,000㎡

60.0kg-CO₂/㎡は
新排出係数での
ベンチマークでは
レンジA2に該当

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	41.6	以下	52	6.8%	5473
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6	超 45.3 以下	19	9.3%	4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3	超 49.1 以下	19		5580
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1	超 52.9 以下	33		5872
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9	超 56.7 以下	33	17.2%	5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7	超 60.4 以下	47		5445
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4	超 64.2 以下	51		5604
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2	超 68.0 以下	58	23.1%	5580
A1	0.90超-0.95以下	68.0	超 71.8 以下	57		5570
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8	超 平均値 75.5 以下	61		5334
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 75.5	超 79.3 以下	53	18.6%	6057
B2	1.05超-1.10以下	79.3	超 83.1 以下	51		5739
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1	超 86.9 以下	38		5808
B1	1.15超-1.50以下	86.9	超 113.3 以下	126	16.5%	5541
C	1.50超	113.3	超	64	8.4%	5812
合計				762	平均	5612

(新排出係数でのベンチマーク表)

➡ A2

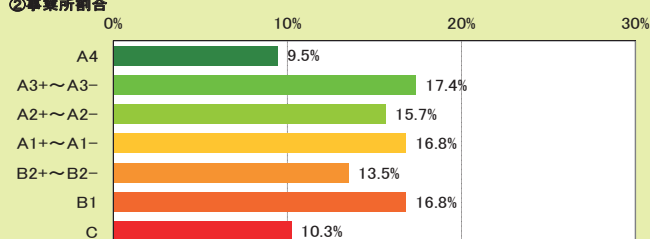
4 ベンチマーク区分（参考）

テナントビル（オフィス系、小規模） 延床面積：1,000㎡～ 3,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	43.4 以下	49	9.5%	2014
A3 +	0.55超-0.60以下	43.4 超 47.4 以下	28		1949
A3	0.60超-0.65以下	47.4 超 51.3 以下	25	17.4%	1777
A3 -	0.65超-0.70以下	51.3 超 55.3 以下	37		1855
A2 +	0.70超-0.75以下	55.3 超 59.2 以下	32		2058
A2	0.75超-0.80以下	59.2 超 63.2 以下	24	15.7%	1934
A2 -	0.80超-0.85以下	63.2 超 67.1 以下	25		2022
A1 +	0.85超-0.90以下	67.1 超 71.1 以下	35		2157
A1	0.90超-0.95以下	71.1 超 75.0 以下	24	16.8%	2004
A1 -	0.95超-1.00以下	75.0 超 78.9 以下	28		2151
B2 +	1.00超-1.05以下	78.9 超 82.9 以下	26		2023
B2	1.05超-1.10以下	82.9 超 86.8 以下	24	13.5%	2026
B2 -	1.10超-1.15以下	86.8 超 90.8 以下	20		2118
B1	1.15超-1.50以下	90.8 超 118.4 以下	87	16.8%	1966
C	1.50超	118.4 超	53	10.3%	1660
合計			517	平均	1966

②事業所割合

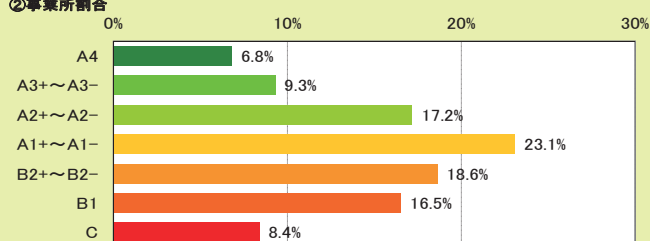


テナントビル（オフィス系、中規模） 延床面積：3,000㎡～ 10,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	41.6 以下	52	6.8%	5473
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6 超 45.3 以下	19		4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3 超 49.1 以下	19	9.3%	5580
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1 超 52.9 以下	33		5872
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9 超 56.7 以下	33		5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7 超 60.4 以下	47	17.2%	5445
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4 超 64.2 以下	51		5604
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2 超 68.0 以下	58		5580
A1	0.90超-0.95以下	68.0 超 71.8 以下	57	23.1%	5570
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8 超 75.5 以下	61		5334
B2 +	1.00超-1.05以下	75.5 超 79.3 以下	53		6057
B2	1.05超-1.10以下	79.3 超 83.1 以下	51	18.6%	5739
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1 超 86.9 以下	38		5808
B1	1.15超-1.50以下	86.9 超 113.3 以下	126	16.5%	5541
C	1.50超	113.3 超	64	8.4%	5812
合計			762	平均	5612

②事業所割合

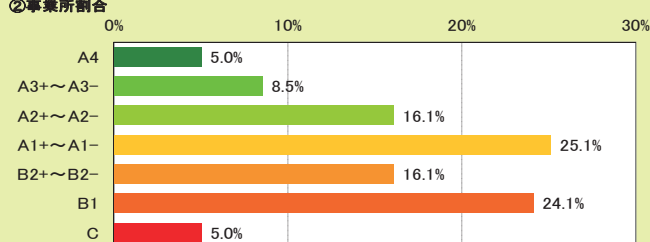


テナントビル（オフィス系、準大規模） 延床面積：10,000㎡～ 20,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	41.4 以下	10	5.0%	13061
A3 +	0.55超-0.60以下	41.4 超 45.1 以下	6		14715
A3	0.60超-0.65以下	45.1 超 48.9 以下	4	8.5%	12346
A3 -	0.65超-0.70以下	48.9 超 52.6 以下	7		11796
A2 +	0.70超-0.75以下	52.6 超 56.4 以下	8		12261
A2	0.75超-0.80以下	56.4 超 60.1 以下	7	16.1%	13809
A2 -	0.80超-0.85以下	60.1 超 63.9 以下	17		14752
A1 +	0.85超-0.90以下	63.9 超 67.6 以下	15		14375
A1	0.90超-0.95以下	67.6 超 71.4 以下	14	25.1%	13845
A1 -	0.95超-1.00以下	71.4 超 75.1 以下	21		14280
B2 +	1.00超-1.05以下	75.1 超 78.9 以下	14		14232
B2	1.05超-1.10以下	78.9 超 82.7 以下	13	16.1%	13572
B2 -	1.10超-1.15以下	82.7 超 86.4 以下	5		12583
B1	1.15超-1.50以下	86.4 超 112.7 以下	48	24.1%	14382
C	1.50超	112.7 超	10	5.0%	14548
合計			199	平均	13970

②事業所割合

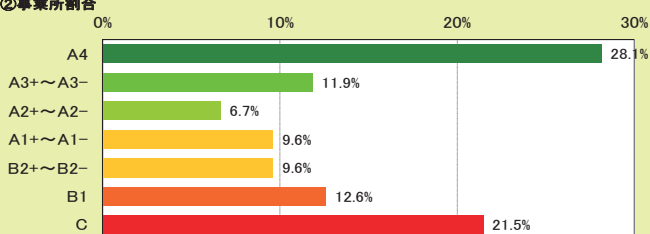


テナントビル（商業複合系、小規模） 延床面積：1,000㎡～ 3,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	114.3 以下	38	28.1%	1654
A3 +	0.55超-0.60以下	114.3 超 124.7 以下	6		1705
A3	0.60超-0.65以下	124.7 超 135.1 以下	4	11.9%	1884
A3 -	0.65超-0.70以下	135.1 超 145.4 以下	6		1510
A2 +	0.70超-0.75以下	145.4 超 155.8 以下	2		1448
A2	0.75超-0.80以下	155.8 超 166.2 以下	5	6.7%	1632
A2 -	0.80超-0.85以下	166.2 超 176.6 以下	17		1513
A1 +	0.85超-0.90以下	176.6 超 187.0 以下	5		2012
A1	0.90超-0.95以下	187.0 超 197.4 以下	2	9.6%	2762
A1 -	0.95超-1.00以下	197.4 超 207.7 以下	6		1848
B2 +	1.00超-1.05以下	207.7 超 218.1 以下	5		2072
B2	1.05超-1.10以下	218.1 超 228.5 以下	6	9.6%	2049
B2 -	1.10超-1.15以下	228.5 超 238.9 以下	2		1891
B1	1.15超-1.50以下	238.9 超 311.6 以下	17	12.6%	1923
C	1.50超	311.6 超	29	21.5%	1753
合計			135	平均	1783

②事業所割合

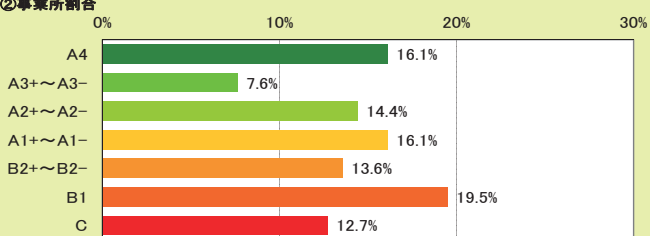


テナントビル（商業複合系、中規模） 延床面積：3,000㎡～ 10,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	96.2 以下	19	16.1%	5780
A3 +	0.55超-0.60以下	96.2 超 104.9 以下	2		6147
A3	0.60超-0.65以下	104.9 超 113.7 以下	2	7.6%	6152
A3 -	0.65超-0.70以下	113.7 超 122.4 以下	5		6706
A2 +	0.70超-0.75以下	122.4 超 131.1 以下	6		5772
A2	0.75超-0.80以下	131.1 超 139.9 以下	7	14.4%	6284
A2 -	0.80超-0.85以下	139.9 超 148.6 以下	4		6551
A1 +	0.85超-0.90以下	148.6 超 157.4 以下	3		7180
A1	0.90超-0.95以下	157.4 超 166.1 以下	4	16.1%	5036
A1 -	0.95超-1.00以下	166.1 超 174.8 以下	12		6357
B2 +	1.00超-1.05以下	174.8 超 183.6 以下	5		5019
B2	1.05超-1.10以下	183.6 超 192.3 以下	6	13.6%	4398
B2 -	1.10超-1.15以下	192.3 超 201.1 以下	7		5180
B1	1.15超-1.50以下	201.1 超 262.2 以下	23	19.5%	5518
C	1.50超	262.2 超	15	12.7%	4965
合計			118	平均	5687

②事業所割合

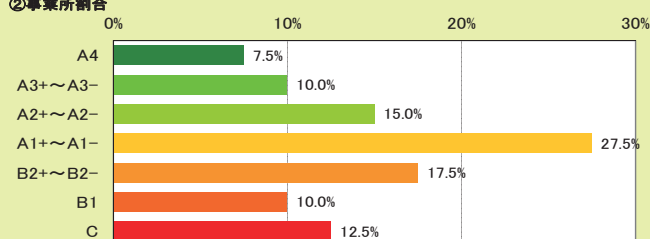


テナントビル（商業複合系、準大規模） 延床面積：10,000㎡～ 20,000㎡

①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の 割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	68.3 以下	3	7.5%	16683
A3 +	0.55超-0.60以下	68.3 超 74.5 以下	1		10472
A3	0.60超-0.65以下	74.5 超 80.7 以下	3	10.0%	15116
A3 -	0.65超-0.70以下	80.7 超 86.9 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	86.9 超 93.1 以下	2		13227
A2	0.75超-0.80以下	93.1 超 99.3 以下	1	15.0%	15120
A2 -	0.80超-0.85以下	99.3 超 105.5 以下	3		14173
A1 +	0.85超-0.90以下	105.5 超 111.7 以下	0		0
A1	0.90超-0.95以下	111.7 超 117.9 以下	5	27.5%	15446
A1 -	0.95超-1.00以下	117.9 超 124.1 以下	6		12705
B2 +	1.00超-1.05以下	124.1 超 130.4 以下	1		17214
B2	1.05超-1.10以下	130.4 超 136.6 以下	2	17.5%	12816
B2 -	1.10超-1.15以下	136.6 超 142.8 以下	4		12393
B1	1.15超-1.50以下	142.8 超 186.2 以下	4	10.0%	12191
C	1.50超	186.2 超	5	12.5%	10928
合計			40	平均	13470

②事業所割合



5 ベンチマークレンジ

ベンチマークにおけるレンジ区分は、海外の同様制度との整合性・比較可能性を考慮し、英国の省エネ性能表示制度（DEC）等を参考にして7段階15レンジで構成しています。その基準は、CO₂排出原単位の平均を算出しその平均値から少ない方に向かって、A1、A2、A3、A4（A1～A3は、さらに細分化）とし、平均値から多い方には、B2、B1、C（B2は、さらに細分化）としています。

レンジ		基準
A4	A4	平均値の 55%以下の水準
A3	A3 ⁺	平均値の 55%超から 60%以下の水準
	A3	平均値の 60%超から 65%以下の水準
	A3 ⁻	平均値の 65%超から 70%以下の水準
A2	A2 ⁺	平均値の 70%超から 75%以下の水準
	A2	平均値の 75%超から 80%以下の水準
	A2 ⁻	平均値の 80%超から 85%以下の水準
A1	A1 ⁺	平均値の 85%超から 90%以下の水準
	A1	平均値の 90%超から 95%以下の水準
	A1 ⁻	平均値の 95%超から平均値までの水準
B2	B2 ⁺	平均値超から 105%以下の水準
	B2	平均値の 105%超から 110%以下の水準
	B2 ⁻	平均値の 110%超から 115%以下の水準
B1	B1	平均値の 115%超から 150%以下の水準
C	C	平均値の 150%超の水準

平均値ライン

6 ベンチマーク活用の留意点

ベンチマークは、CO₂排出量を延床面積で割って原単位化しているため、事業所の規模にとらわれずに評価できる指標ですが、事業所のCO₂排出量は、稼働時間や設備構成によって影響を受けますので必要に応じて状況を把握することが大切です。

また、テナントビルにおいては、テナントのエネルギーの使い方に大きく影響を受けるため省エネ性能以外の要因を考慮する必要があります。

以下に、ベンチマークに影響を与える要因を例示しますので、評価の際の参考にしてください。

①稼働状況

24時間営業などの店舗は、CO₂排出量が多くなります。

②設置設備

フィットネスクラブなどは、プール設備の有無でCO₂排出量が大きく異なります。

③室用途

オフィスビルでサーバー室の存在、会議室や倉庫スペースの広さなどによってCO₂排出量が影響を受けます。

④テナントビル

- ・空室率（空室率が平均的なビルより大きい場合、CO₂排出量は少ない傾向）
- ・用途等（サーバー室などを持つエネルギー使用割合の高いテナントによってCO₂排出量に影響）
- ・稼働時間（24時間営業テナントの状況）

7 ベンチマークを使った環境評価

■カーボンレポート

このレポートは、ベンチマークによってテナントビルの省エネレベルを分かりやすく表示した書面で、地球温暖化対策報告書を提出しているテナントビルであれば、ホームページから簡単にダウンロードすることができます。

ビルオーナー等が、不動産取引の際に示すことでビルの環境性能のアピールに活用できます。また、エントランス等に掲示することで来訪者への温暖化対策やCSR活動のPRIに繋がるなど、幅広い活用が可能です。

【カーボンレポート表面：A4サイズ】



【カーボンレポート裏面】

◆ 地球温暖化対策の実施状況		
	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	地球温暖化対策の方針等の設定	都などの無料の相談機関の利用
	具体的な取組目標と内容の設定 取組状況の点検体制の構築	外部専門家への相談依頼の実施
エネルギー等の 使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
	エネルギー使用量の前年度比較	
	共用部照明のフロアごとの管理	室温度の適正管理
	共用部のフロアごとの空調の管理	
運用対策		
設備保守対策	ランプ等の定期的な清掃・交換	その他設備の定期的な保守・点検
	空調フィルターの清掃・点検	
設備導入対策		
	高効率照明器具の採用（屋内）	更新に合わせた高効率機器の採用
	高効率パッケージの採用	

上記は、本事業所が実施年度に実施した対策です。

◆ 補足説明（自由記入）

〇〇〇〇ビルディングでは、空調設備を更新し、全ての照明器具をLED照明化する等ビル全体の光熱費の軽減を図っております。

◆ 注記

ビルのCO2排出原単位（延床面積当たりの年間CO2排出量）は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル（省エネ性能）を評価することができます。

なお、ビルのCO2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使用方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO2排出原単位に寄与をえているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標（ベンチマーク）解説書』（東京都環境局発行）をご参照ください。

ベンチマーク

省工不対策

【カーボンレポート：ダウンロード画面】

[illegible]

カーボンレポートを提供しているベンチマーク区分

ベンチマーク区分	
1	オフィス(テナント専有部)
2	オフィス(自社ビル)
3	テナントビル(オフィス系、小規模)
	テナントビル(オフィス系、中規模)
	テナントビル(オフィス系、準大規模)
4	テナントビル(商業複合系、小規模)
	テナントビル(商業複合系、中規模)
	テナントビル(商業複合系、準大規模)

地球温暖化対策報告書公表データ検索結果において、「取組表示書」の欄に「カーボンR」と記載ある場合ダウンロード可能

カーボンレポートの利用方法に関するガイドラインの詳細は以下をご覧ください
(URL) <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/other/lowcarbon.html>

PRシートの利用方法に関するガイドラインの詳細は以下をご覧ください
(URL) <http://www8.kankyo.metro.tokyo.jp/ondanka/prsheet/index.html>

8 業種区分ごとのベンチマーク (2012年度実績改定版)

区分 no.	ベンチマーク区分名	平均原単位 kgCO ₂ /m ²	事業所数 (有効データ)	平均延床 m ²
1	オフィス(テナント専有部)	81.3	722	1,467
2	オフィス(自社ビル)	65.4	573	4,232
3(1)	テナントビル(オフィス系、小規模)	78.9	517	1,966
3(2)	テナントビル(オフィス系、中規模)	75.5	762	5,612
3(3)	テナントビル(オフィス系、準大規模)	75.1	199	13,970
4(1)	テナントビル(商業複合系、小規模)	207.7	135	1,783
4(2)	テナントビル(商業複合系、中規模)	174.8	118	5,687
4(3)	テナントビル(商業複合系、準大規模)	124.1	40	13,470
5	物販店(コンビニ)	585.4	3,646	142
6	物販店(ドラッグストア)	295.4	312	341
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	259.7	423	3,999
8	物販店(生鮮食品等)	387.0	694	1,772
9	物販店(食料品の製造小売)	765.3	355	81
10	物販店(服飾品)	124.8	168	958
11	物販店(自動車(新車)小売)	63.4	267	1,668
12	飲食店(食堂・レストラン)	596.6	1,569	240
13	飲食店(居酒屋・バー)	365.1	1,127	280
14	飲食店(ハンバーガー)	733.4	413	220
15	飲食店(喫茶)	414.1	394	139
16	飲食店(焼肉)	561.9	119	184
17	飲食店(中華料理・ラーメン)	985.1	183	106
18	飲食店(その他)	718.7	437	145
19	旅館・ホテル	125.2	158	4,311
20	学校・教育施設	23.4	1,781	7,339
21	病院・診療所	106.0	48	5,213
22	保育所	57.1	241	960
23	保健・介護施設	72.6	422	2,332
24	フィットネス施設	203.5	146	3,248
25	パチンコ店舗	287.1	89	1,068
26	カラオケボックス店舗	252.1	168	635
27	ゲームセンター	333.9	50	905
28	図書館	64.3	149	1,981
29	博物館・美術館	69.3	64	2,717
30	区市町村庁舎等	54.6	62	7,778